

平成27年10月2日
東北農政局
東北地方整備局
(一社)東北経済連合会

東北農林水産物・食品輸出モデル検討協議会(仮称)を設立 ～官民連携により東北の農林水産物・食品の輸出を支援～

この度、東北農政局、東北地方整備局、(一社)東北経済連合会が主体となって、官民連携により東北の農林水産物・食品の輸出を支援する『東北農林水産物・食品輸出モデル検討協議会(仮称)』を設立します。

つきましては、第1回協議会を開催する運びとなりましたのでお知らせします。

【開催概要】

- ◆日時：平成27年10月9日(金) 10時30分～12時00分
- ◆場所：宮城県管工事会館 4階会議室
(住所：仙台市青葉区本町三丁目5-22)
- ◆議事：
 - ・東北の農林水産物・食品の輸出拡大に向けた取組体制(案)について
 - ・協議会の設置要領(案)について
 - ・協議会の今後の取り組みにかかる意見交換
 - ・その他
- ◆参加機関：東北農政局、東北地方整備局、(一社)東北経済連合会、東北経済産業局、東北運輸局、日本貿易振興機構(ジェトロ)

【添付資料】

- ◆東北の農林水産物・食品の輸出拡大に向けた取組体制(案)

【取材について】

- ◆取材の受付は10時から行います。取材は、担当者の指示に従って下さい。

〈発表記者會〉宮城県政記者會、東北電力記者會、東北専門記者會

【問合せ先】

農林水産省 東北農政局 経営・事業支援部 地域連携課 高橋正行、武内一志

Tel: 022-263-1111 (内線 4381、4377)

国土交通省 東北地方整備局 港湾空港部 港湾物流企画室 加賀谷宏基、早川修

Tel: 022-716-0005

一般社団法人 東北経済連合会 地域政策グループ 菅原秀徳、小嶋貴磨

Tel: 022-799-2104

東北の農林水産物・食品の輸出拡大に向けた取組体制(案)

- ◇東北国際物流戦略チームでは、農林水産物・食品の輸出拡大に向けた検討を行ってきており、以下を主な課題として整理
- ・商流の課題：輸出に興味のある生産者の発掘、販路の開拓・拡大、地域・産地間での価格競争の解消、輸出手続きの慣熟
 - ・物流の課題：東北での集荷・自地域からの輸出が限定的

◇上述の課題へ対応するため、輸出に携わる組織が一体となり、新たな取組体制を構築

- ①輸出の商流と物流を一連にコーディネートするプラットフォームを有するビジネスモデルを構築
- ②ビジネスモデルを東北地域の行政機関等が一体となって支援(東北農林水産物・食品輸出モデル検討協議会(仮称)を設立)
これにより、地域連携・産地連携を促進し、オール東北として輸出を活性化させることで、オールジャパンでの輸出拡大を後押しする。

■東北の農林水産物・食品の輸出拡大に向けた取組体制(案)

東北農林水産物・食品輸出モデル検討協議会(仮称)

メンバー

行政機関等

- ・東北農政局
- ・東北地方整備局
- ・(一社)東北経済連合会
- ・東北経済産業局
- ・東北運輸局
- ・日本貿易振興機構(ジェトロ)
- ・自治体 など

ビジネスモデルを検討

民間企業

商社・物流事業者・銀行 など

支援

- 【各種支援】
- ・産地連携の取組などを支援
 - ・東北の港湾・空港利用へのインセンティブ付与 など

東北農林水産物・食品輸出拡大ビジネスモデル(イメージ)

海外バイヤー(買い手)

バイヤーと生産者をマッチング
(営業・商談・輸出手続き・決済など)

プラットフォームA

商流・物流のコーディネーター※

商社A

物流事業者A ..

※例えば、東北で集荷し東北の港湾や空港から輸出する主体などをイメージ

プラットフォームB

商社B

物流事業者B ..

バイヤーが望む商品情報を提供

生産者の商品情報
(品目・ブランド・収穫時期・
収穫量・価格など)を提供
商品の選定

エントリーリスト(生産者)